

公明党議員団

池田 謙次・藤田 広美・神山哲太郎
大西 厚子・大野 正和



池田謙次
議員

コロナ禍での市議会定例会は最終日に延会となりましたが、粛々と取り組みました。

コロナ禍で勇払地域のご高齢者の方々から「市営バス休日ダイヤの運行ですが、できれば朝の9時台に一本欲しい」とのお声をいただき質問しました。異例の速さで実現し、苫小牧市と道南バスさんには、心から感謝いたします。

さらには、最近市内で連続している不審者の多発を受けて、何度も議会を取り上げました、市内防犯カメラの設置を訴えました。まずは、市内で2カ所の設置が実現いたします。担当課のご尽力に、同じく感謝いたします。

ほかに、死亡時のフンストップ窓口が一月にスタートすることも実現いたします。



藤田広美
議員

新型コロナウイルスの感染が収まらない中、感染防止に努めなが

ら市議会定例会は開会されました。教育・福祉・経済対策など真剣な質疑が行われました。特に「苫小牧市子ども虐待から守る条例」では9人の議員から質疑があり、条例が可決成立しました。今後、より具体的な施策が検討されますが、条例が全市民の共通認識となるように取り組んでいきます。

今議会は新型コロナウイルス感染症の影響で会期を延長し、議会改革検討会も延期になりました。予定していた議会のICT化については令和3年度からの導入を目指し、さらなる議会改革に取り組んでまいります。

今議会は新型コロナウイルス感染症の影響で会期を延長し、議会改革検討会も延期になりました。予定していた議会のICT化については令和3年度からの導入を目指し、さらなる議会改革に取り組んでまいります。



神山哲太郎
議員

土地利用の在り方や交通と道路計画について、美沢錦岡通りの一部は供用になっていくがほとんど計画が進んでいないので見直しするべきと質問しました。どの様な見直しができるか北海道とも協議したいと答弁がありました。

市内における降灰現象について、平成7年からススの付着が発生し

現在も数件あるが、原因や対応について質問しました。企業によっては設備更新もあり状況の変化が考えられる。改めて成分分析や踏み込んだ調査をしたいと答弁がありました。その他、地域の交通安全

全対策について質問しました。苫小牧市子ども虐待から守る条例について、条例案について苫小牧市の責務と市民の責務の違いや市民が虐待などと感じ通告した場合の通告者の身の安全について質疑しました。

遠距離通学支援について、市独自の3km以上の距離基準と補助割合の見直しなどを提案し、今後の社会情勢の変化などに応じ、教育的観点など総合的に通学の在り方を検討したいと答弁がありました。災害時にマンホールの蓋を外して使用するマンホールトイレの整備について、市保有の153基の計画的な早急な整備を求め、時間をかけずに実態把握を行い計画策定に着手すると答弁がありました。



大西厚子
議員

遠距離通学支援について、市独自の3km以上の距離基準と補助割合の見直しなどを提案し、今後の社会情勢の変化などに応じ、教育的観点など総合的に通学の在り方を検討したいと答弁がありました。災害時にマンホールの蓋を外して使用するマンホールトイレの整備について、市保有の153基の計画的な早急な整備を求め、時間をかけずに実態把握を行い計画策定に着手すると答弁がありました。

市内における降灰現象について、平成7年からススの付着が発生し

結婚支援で住宅賃貸費用や引越費用を補助する結婚新生活支援事業への取り組みを求めました。インフルエンザ予防接種の助成について、子育て世帯や受験生への継続的な助成拡大を求めました。

税外収入増を目指し、市内の公園の里親制度を提案しました。スポーツ施設における広告の取り扱いが広告代理店に任せきりになっていることを指摘し、代理店向けになっている市のホームページを事業者さん向けに変更、さらに、チラシを製作し営業活動の提案をしました。令和2年度中にすべて行うとの答弁がありました。



大野正和
議員

税外収入増を目指し、市内の公園の里親制度を提案しました。スポーツ施設における広告の取り扱いが広告代理店に任せきりになっていることを指摘し、代理店向けになっている市のホームページを事業者さん向けに変更、さらに、チラシを製作し営業活動の提案をしました。令和2年度中にすべて行うとの答弁がありました。

少人数学級実施へ向けて進んでいくべきと求め、道へ35人以下学級を堅持・拡充すること、一層の定数改善と加配措置の充実を要望し続けると答弁がありました。灯油運びボランティア・不妊不育症治療・SNSによるこども相談窓口設置についても質問しました。

市内における降灰現象について、平成7年からススの付着が発生し